



1 学期、がんばりました！

4月8日、どんなクラスかなあ？担任の先生はどんな先生かなあ？と、ドキドキしたりワクワクしたりしながら迎えた新学年。それから約3か月半経ちました。

ある担任の6月20日の土曜公開日に向けた通信の一部を紹介します。

2時間目は体育です。体育では、担任による「マット運動」を行います。マット運動は、単に技ができる・できないだけではありません。今の自分の力にあつためあてを決め、「どうすればもっと上手に回れるか」を自分で考えたり、友達とアドバイスを交わしあったりする授業を日々行っています。技が決まった瞬間の嬉しそうな表情はもちろん、失敗しても「もう一回！」と立ち上がる、子どもたちの「心のたくましさ（挑戦する姿）」にぜひご注目ください。温かい応援の視線をよろしくお願いいたします。

大人は「結果」を重視しがちです。もちろん、結果も大切ですが、学校では、子どもたちが取り組む過程を大切に、学校教育目標である「**進んで学ぶ子 思いやりのある子 最後までがんばる子**」の育成に取り組んでいます。子どもたちは、「もっと知りたい」「もっと上手になりたい」「できるようになりたい」という気持ちを持っています。赤ちゃんが、「動きたい」という一心でハイハイを身に付けるように、本来、子どもは成功や失敗にかかわらず、「やってみたい」「挑戦してみたい」という強い意欲を持っています。大人から見ると失敗と思える結果であっても、その挑戦の過程で得られるものが重要だったりします。ぜひ、この夏休み、お子様が自分のやりたいことを自分で選び、自分で考えた方法で取り組めるような機会を設けていただければと思います。たとえば思いどおりにやり遂げられないことがあったとしても、まずは自分で考え、挑戦したことを認めてあげてください。そして、「次によりよい取り組みにするためにはどうすればよいか」を一緒に考える機会としていただければ幸いです。そうした積み重ねは、子どもたちの「挑戦してみよう」という意欲を育み、自分への自信にもつながります。

こどものつぶやき・・・

○1年生の音楽「うみ」の歌唱の授業中、大型モニターに映っている海を見ながら担任「海、きれいだね～。みんなはどう思う？」

児童「きれい！この海を見ながら、カルピス飲みたい！」

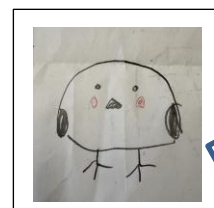
○5年生の国語で「敬語」を学習した後、校長が教室に入ったら

児童「あっ！校長先生がいらっしゃった！あれ？いらっしゃる？

おらっしゃる？（ちょっと混乱しちゃった様子）」

○校長ポストに入っていた手紙から

「ぼくは、すきなひとが28人います。ほいくえんとかっこうあわせています。あと、かっこいいといわれてます。ぼくがとくいな絵は、シマエナガです。（イラスト付き）」



通報・相談窓口

○いじめ通報窓口 <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/ijime-soudan-form.html>

○ネットいじめ・ネットトラブル通報窓口 <https://www.pref.saitama.lg.jp/f2209/ijime/netpat.html>

○鶴ヶ島市立教育センター相談窓口 電話相談 049-286-8993（月～金の9時～16時30分）

掲示物にも様々な工夫があります

学校では、こどもたちが居心地よく学校生活を送ることができるよう、さまざまな工夫をしています。その一つが掲示物です。色とりどりで華やかにしすぎると、授業中の集中力が削がれることがあるため、学級・学年の実態に応じた掲示物を工夫しています。ぜひ学校にお越しの際にご覧ください。

(図工の作品：2年生)



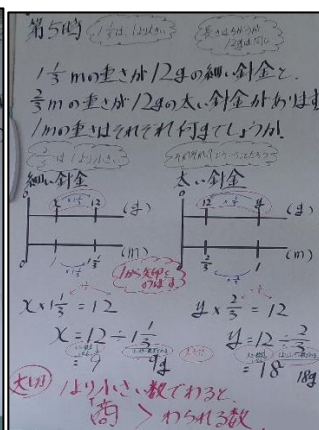
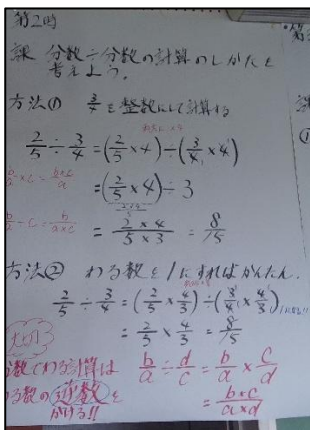
(全員で作成した学級目標：4年生)

(6月をテーマにした掲示物：4年生)



(今、学習している内容：6年生)

(自由進度学習についての紹介：6年生)



(みんなで決めたお楽しみ会：6年生)

(新聞に親しめるよう記事を紹介：図書担当)

